


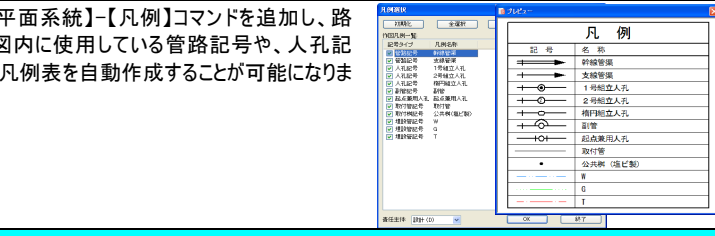
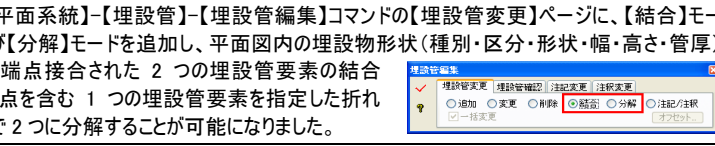

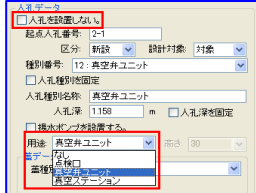
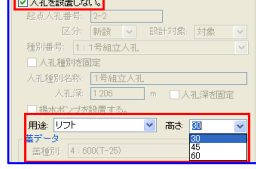
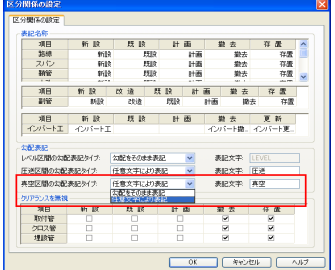
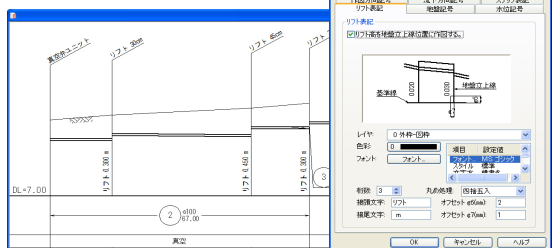
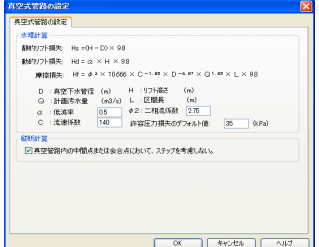

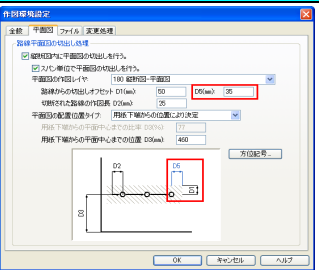
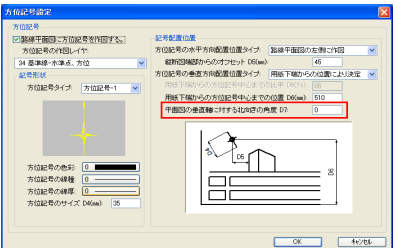
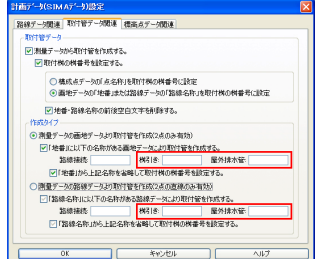
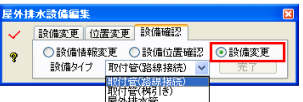
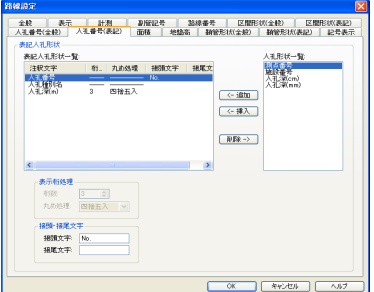
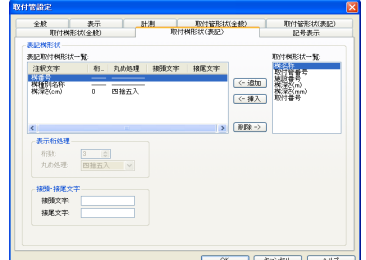
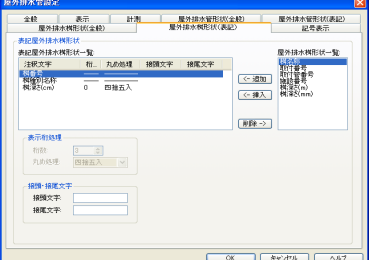


追加機能概要	分類	内容
路線平面系統図における一覧入力・編集機能の追加 ※要〔路線平面系統作成システム(オプション)〕		
路線平面系統図内において、路線要素、取付管・屋外排水管要素、および埋設管要素を取得して、一覧入力・編集することが可能になりました。	路線一覧	<p>【路線平面系統】-【路線平面要素編集】-【路線一覧編集】コマンドを追加し、路線データ内の各データ設定において、平面図内の路線要素を取得して一覧入力・編集することが可能になりました。</p> 
取付管・屋外排水管一覧	取付管・屋外排水管一覧	<p>【路線平面系統】-【路線平面要素編集】-【取付管・屋外排水管一覧編集】コマンドを追加し、取付管データ内の各データ設定において、平面図内の取付管・屋外排水管要素を取得して一覧入力・編集することが可能になりました。</p> 
※屋外排水管の作成には要〔屋外排水設備システム(オプション)〕		
埋設管一覧	埋設管一覧	<p>【路線平面系統】-【路線平面要素編集】-【埋設管一覧編集】コマンドを追加し、埋設管データ内の各データ設定において、平面図内の埋設管要素を取得して一覧入力・編集することが可能になりました。</p> 
検出表示色彩選択行反転	一覧表内の行選択により、図面内の対応した要素が検出色彩表示されます。 また反対に、図面内の対象要素の指定により、一覧表内の対応した行が反転表示されます。	
詳細表示	一覧表内の詳細表示させたい行で右クリックし、表示されるメニュー内の【詳細】の指定により、対応したデータ入力ダイアログが表示され、一覧表に無い項目についても、入力、編集、および確認が行えます。	
路線平面図内使用記号による凡例表作成機能の追加 ※要〔路線平面系統作成システム(オプション)〕		
路線平面図内に使用している記号の凡例表を自動作成することが可能になりました。	凡例表作成	<p>【路線平面系統】-【凡例】コマンドを追加し、路線平面図内に使用している管路記号や、人孔記号などの凡例表を自動作成することが可能になりました。</p> 
平面内埋設管の結合・分解機能の追加 ※要〔路線平面系統作成システム(オプション)〕		
平面図内の埋設物形状が同じで端点接合された 2 つの埋設管要素の結合や、折れ点を含む 1 つの埋設管要素の分解が可能になりました。	埋設管結合 埋設管分解	<p>【路線平面系統】-【埋設管】-【埋設管編集】コマンドの【埋設管変更】ページに、【結合】モード、および【分解】モードを追加し、平面図内の埋設物形状(種別・区分・形状・幅・高さ・管厚)が同じで端点接合された 2 つの埋設管要素の結合や、折れ点を含む 1 つの埋設管要素を指定した折れ点位置で 2 つに分解することが可能になりました。</p> 

Rapid シリーズ Ver8.0 追加機能一覧

Pipe Rapid

追加機能概要	分類	内容
真空式下水道に対応 ※平面計画には要【路線平面系統作成システム(オプション)】		
真空式下水道での平面計画、縦断計画、および圧力損失計算が可能になりました。	路線データ流下方法指定	【路線データ】、【流末データ】、および【地区外流入データ】ダイアログ内の【流下方法】で【圧力管路】を指定する場合に、【真空】路線の指定が可能になりました。 
	人孔用途指定	【路線データ】、および【流末データ】の【流下方法】で【真空】に設定された路線内の【人孔データ】ダイアログ内で、『人孔を設置しない』のチェックが OFF の場合の【用途】として、【なし】・【点検口】・【真空弁ユニット】・【真空ステーション】の 4 タイプから指定することが可能になりました。 
	リフト指定	【路線データ】、および【流末データ】の【流下方法】で【真空】に設定された路線内の【人孔データ】ダイアログ内で、『人孔を設置しない』のチェックが ON の場合の【用途】として、【なし】・【リフト】・【下り配管】の 3 タイプから指定が可能になりました。 さらに【用途】で【リフト】を指定した場合、【高さ】が【30】・【45】・【60】cm の 3 タイプ、もしくは任意値入力により指定することが可能になりました。 
	勾配表記の設定	【縦断設計の設定】-【区分関係の設定】ダイアログ内に『真空区間の勾配表記タイプ』の設定項目を追加し、真空区間の勾配を平面図や縦断図に作図する場合に、表記タイプを【勾配をそのまま表記】・【任意文字により表記】の 2 タイプから設定して作図することが可能になりました。 
	縦断図リフト表記設定	【縦断図の設定】-【記号関連設定】ダイアログ内に【リフト表記】ページを追加し、縦断図の基準線上部にリフト高が表記可能になりました。 
	真空式管路の設定	【縦断設計の設定】-【真空式管路の設定】を追加し、真空式下水道における【水理計算】(圧力損失計算)、および【縦断計算】についての条件設定が可能になりました。 
圧力損失計算		流量計算時の【計算条件設定】ダイアログ内に『圧力損失の計算を行う』のチェックボックスを追加し、チェックを ON にして計算することにより、ツリービュー【路線図】タブ内右クリックメニュー【本管一覧】-【圧力損失データ一覧】で、圧力損失計算結果の確認が可能になりました。 
縦断図内自動挿入平面図の切出し範囲設定(縦／横別)の追加 ※要【路線平面系統作成システム(オプション)】		
縦断図内に自動挿入する平面図の切出し範囲について、路線に対しての縦方向と横方向で別々に設定して切出すことが可能になりました。	切出し範囲	縦断図内に自動挿入する平面図の切出し範囲は、【縦断図の設定】-【作図環境設定】の【平面図】ページの【路線からの切出しオフセット】の設定値により、これまでは路線に対しての縦方向・横方向とも共通値を使用していましたが、これを別々に設定して切出すことが可能になりました。 

追加機能概要	分類	内容
縦断面図内自動挿入方位の角度設定の追加 ※要〔路線平面系統作成システム(オプション)〕		
<p>縦断面図内に追加挿入できる方位記号について、平面図の垂直軸が北向きではなく角度を持っている場合についても、その角度に対応した自動挿入が可能になりました。</p>	<p>方位記号の角度設定</p>	<p>【縦断面図の設定】-【作図環境設定】の【平面図】ページ内の【方位記号】ボタン指定により表示される【方位記号設定】ダイアログ内に、『平面図の垂直軸に対する北向きの角度』の設定を追加し、縦断面図に切出し平面図を自動挿入する時に追加挿入できる方位記号について、平面図の垂直軸が北向きではなく角度を持っている場合についても、その角度に対応した自動挿入が可能になりました。</p> 
平面作成時 SIMA データからの屋外排水設備読み込み設定の追加 ※要〔屋外排水設備システム(オプション)〕		
<p>測量データ(SIMA データ)からの読み込みによる路線平面図新規作成時の取付管データの作成タイプとして、接続タイプが「樹引き」の取付管要素、および屋外排水要素についても自動作成が可能になりました。</p>	<p>取付管データ作成タイプの追加</p>	<p>ツリービュー【平面図】タブ内右クリックメニューの【測量データ】-【Wing Neo 入力】、および【BLUE TREND 入力】による路線平面図新規作成時の【測量データ設定】ダイアログ内の【計画データ(SIMA データ)設定】ボタン指定により表示されるダイアログ内の【取付管データ関連】タブ内に、取付管データの作成タイプとして、「樹引き」、および「屋外排水管」の設定を追加し、これまでの接続タイプが「路線」の取付管要素に加え、接続タイプが「樹引き」の取付管要素、および屋外排水要素についても測量データ(SIMA データ)からの読み込みによる自動作成が可能になりました。</p> 
屋外排水設備変更機能(取付管要素・接続タイプ)の追加 ※要〔屋外排水設備システム(オプション)〕		
<p>指定した取付管、または屋外排水要素の設備タイプを変更することが可能になりました。</p>	<p>取付管設備タイプの変更</p>	<p>【屋外排水設備】-【屋外排水設備編集】コマンド内の【設備確認】ページに【設備変更】モードを追加し、【設備タイプ】リストボックスからの選定により、指定した取付管、または屋外排水要素の設備タイプを[取付管(路線接続)], [取付管(樹引き)], または[屋外排水管]へ変更することが可能になりました。</p> 
平面内における人孔・樹形状項目複数表記設定の追加 ※要〔路線平面系統作成システム(オプション)〕		
<p>平面図内の人孔、取付樹、および屋外排水樹形状項目の複数表記が可能になりました。</p>	<p>人孔形状</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【路線関連設定】-【路線設定】ダイアログ内に【人孔番号(表記)】ページを追加し、ここでの複数選択により、平面図内において人孔形状項目の複数表記が可能になりました。</p> 
<p></p>	<p>取付樹形状</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【取付管関連設定】-【取付管設定】ダイアログ内に【取付樹形状(表記)】ページを追加し、ここでの複数選択により、平面図内において取付樹形状項目の複数表記が可能になりました。</p> 
<p></p>	<p>屋外排水樹形状</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【屋外排水管関連設定】-【屋外排水管設定】ダイアログ内に【屋外排水樹形状(表記)】ページを追加し、ここでの複数選択により、平面図内において屋外排水樹形状項目の複数表記が可能になりました。 ※屋外排水管の作成には要〔屋外排水設備システム(オプション)〕</p> 

追加機能概要	分類	内容
路線平面要素における文字配置切替え表記(縦／横)機能の拡張 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]		
<p>平面図内の個々の路線要素、取付管要素、屋外排水管要素、および埋設管要素の文字配置タイプについても、横配置／縦配置の切替表記が可能になりました。</p>	<p>区間形状 人孔番号</p> <p>取付樹形状 取付管形状</p> <p>取付・屋外排水樹形状 取付・屋外排水管形状</p> <p>埋設管注記・注釈</p>	<p>【路線平面系統】-【路線】-【路線番号編集】コマンドの【位置変更】ページの【番号配置タイプ】モードにより、平面図内の、これまでの【路線番号】に加え、【区間形状】、および【人孔番号】についても横配置／縦配置の切替表記が可能になりました。</p>  <p>【路線平面系統】-【取付管(路線接続)】-【取付管番号編集】コマンドの【位置変更】ページに【番号配置タイプ】モードを追加し、平面図内の【取付樹形状】、および【取付管形状】についての横配置／縦配置の切替表記が可能になりました。</p>  <p>【屋外排水設備】-【屋外排水設備番号編集】コマンドの【位置変更】ページに【番号配置タイプ】モードを追加し、平面図内の【取付・屋外排水樹形状】、および【取付・屋外排水管形状】についての横配置／縦配置の切替表記が可能になりました。 ※屋外排水管の作成には要[屋外排水設備システム(オプション)]</p>  <p>【路線平面系統】-【埋設管】-【埋設管編集】コマンドの【注記変更】ページ、および【注釈変更】ページに【配置タイプ】モードを追加し、平面図内の埋設管注記、および埋設管注釈についての横配置／縦配置の切替表記が可能になりました。</p> 
路線平面要素形状の表示／非表示機能の拡張 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]		
<p>平面図内の個々の路線要素、取付管要素、および屋外排水管要素の表記形状についても、切替表記(注釈表示→形状・注釈非表示→形状表示の動作でループ)が可能になりました。</p>	<p>区間形状 人孔番号</p> <p>取付樹形状 取付管形状</p> <p>取付・屋外排水樹形状 取付・屋外排水管形状</p>	<p>【路線平面系統】-【路線】-【路線番号編集】コマンドの【注釈】ページの【表示／非表示】モードにより、平面図内の【区間形状】、および【人孔番号】については、これまでの注釈の表示／非表示の切替表記に加え、形状・注釈の非表示も可能になりました。 変更タイプにより以下の動作でループします。 【路線番号】：注釈表示→注釈非表示 【路線面積】：注釈表示→注釈非表示 【区間形状】：注釈表示→形状・注釈非表示→形状表示 【人孔番号】：注釈表示→形状・注釈非表示→形状表示 【路線地盤高】：注釈表示→注釈非表示 【幹管形状】：注釈表示→注釈非表示</p>  <p>【路線平面系統】-【取付管(路線接続)】-【取付管番号編集】コマンドの【注釈】ページの【表示／非表示】モードにより、平面図内の【取付樹形状】、および【取付管形状】について、これまでの注釈の表示／非表示の切替表記に加え、形状・注釈の非表示も可能になり、注釈表示→形状・注釈非表示→形状表示の動作でループします。</p>  <p>【屋外排水設備】-【屋外排水設備番号編集】コマンドの【注釈】ページの【表示／非表示】モードにより、平面図内の【取付・屋外排水樹形状】、および【取付・屋外排水管形状】について、これまでの注釈の表示／非表示の切替表記に加え、形状・注釈の非表示も可能になり、注釈表示→形状・注釈非表示→形状表示の動作でループします。 ※屋外排水管の作成には要[屋外排水設備システム(オプション)]</p> 
平面内における人孔・樹深の表記単位(cm・mm)設定の追加 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]		
<p>平面図内に人孔深、取付樹深、および屋外排水樹深を表記する場合の単位として、『cm』、および『mm』でも表記可能になりました。</p>	<p>人孔深単位</p> <p>取付樹深単位</p> <p>屋外排水樹深単位</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【路線関連設定】-【路線設定】ダイアログ内の【人孔番号(表記)】ページ内に【人孔形状一覧】として、【人孔深(m)】・【人孔深(cm)】・【人孔深(mm)】を追加し、平面図内に表記する人孔深について各単位での表記が可能になりました。</p>  <p>【路線平面系統図の設定】-【取付管関連設定】-【取付管設定】ダイアログ内の【取付樹形状(表記)】ページ内に【取付樹形状一覧】として、【樹深さ(m)】・【樹深さ(cm)】・【樹深さ(mm)】を追加し、平面図内に表記する取付樹深について各単位での表記が可能になりました。</p>  <p>【路線平面系統図の設定】-【屋外排水管関連設定】-【屋外排水管設定】ダイアログ内の【屋外排水樹形状(表記)】ページ内に【屋外排水樹形状一覧】として、【樹深さ(m)】・【樹深さ(cm)】・【樹深さ(mm)】を追加し、平面図内に表記する屋外排水樹深について各単位での表記が可能になりました。 ※屋外排水管の作成には要[屋外排水設備システム(オプション)]</p> 

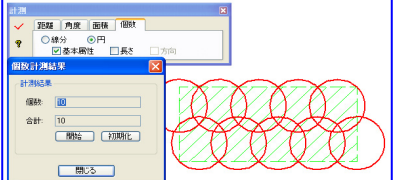
追加機能概要	分類	内容
平面内における埋設管注記・注釈表記区間選択機能の拡張 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]		
<p>平面図内に埋設管を作成する時の表記タイプについて仕様変更を行い、注記・注釈を表記する区間を選択しての作図が可能になりました。</p>	<p>注記・注釈表記統一に仕様変更</p>	<p>【路線平面系統】-【埋設管】-【埋設管作成】コマンドにより、平面図内に埋設管を作成する時のポリラインのみで作図される埋設管を廃止し、[注記表記]、および[注釈表記]の埋設管に統一するよう仕様変更を行いました。</p> <p>これまでのポリラインのみで作図される埋設管の代替機能として、注記・注釈の[全非表示]機能を搭載しました。</p> 
	<p>注記・注釈表記区間の選択</p>	<p>【路線平面系統】-【埋設管】-【埋設管作成】コマンドにより、平面図内に埋設管を作成する時の注記、または注釈を表記する区間の指定が可能になりました。区間指定のタイプは[全表示]・[全非表示]・[両端表示]・[始点表示]・[終点表示]の5タイプから指定できます。</p> 
<p>平面図内の埋設管の注記表記と注釈表記とを変更する場合の機能として、指定した区間のみを対象とした切替えを行うことも可能になりました。</p>	<p>注記・注釈の切替え</p>	<p>【路線平面系統】-【埋設管】-【埋設管編集】コマンドの【埋設管変更】ページの【注記/注釈】モードにより、平面図内の埋設管の注記表記と注釈表記とを変更する場合の機能として、これまでは指定した埋設管要素全体が対象でしたが、【一括変更】チェックボックスを追加し、チェックがONの場合は、これまでと同様に指定した埋設管要素全体の注記/注釈の切替えを行い、チェックがOFFの場合は、指定した区間のみを対象とした切替えを行うことも可能になりました。</p> 
平面内における埋設管注釈方向設定の追加 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]		
<p>平面図内に注釈表記タイプの埋設管として作成する時の注釈方向の設定を指定して作図することが可能になりました。</p>	<p>注釈方向の設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【埋設管設定】ダイアログ内の【全般】ページに、【注釈方向】の設定を追加し、平面図内に注釈表記タイプの埋設管として作成する時の注釈方向の設定を[埋設管に平行]・[水平]・[水平/垂直]の3タイプから指定して作図することが可能になりました。</p> 
平面内路線・取付管関連番号変更時の条件選択機能の拡張 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]		
<p>平面図内に作成された路線、および取付管関連の番号を一括で変更する場合に、変更対象となる区分や流入方向などの条件の指定により、適合した路線、および取付管のみを対象とした変更を行うことが可能になりました。</p>	<p>路線関連番号変更</p>	<p>【路線平面系統】-【路線】-【路線番号編集】コマンドの【番号変更】ページの【一括変更】モードにより[路線番号]、および[人孔番号]を一括で変更する場合に、要素指定後表示されるダイアログ内に、変更対象となる施工区分条件の設定を追加し、指定した施工区分に設定された路線、および人孔のみを対象とした[路線番号]、および[人孔番号]の変更を行うことが可能になりました。</p> 
	<p>取付管関連番号変更</p>	<p>【路線平面系統】-【取付管(路線接続)】-【取付管番号編集】コマンドの【樹番号変更】ページの【一括変更】モードにより[樹名称]、[樹番号]、[取付管番号]、および[取付番号]を一括で変更する場合に、要素指定後表示されるダイアログ内に、変更対象となる施工区分、流入方向、および排除区分条件の設定を追加し、指定した施工区分、流入方向、および排除区分に設定された取付管、および樹のみを対象とした[樹名称]、[樹番号]、[取付管番号]、および[取付番号]の変更を行うことが可能になりました。</p> 
	<p>屋外排水管関連番号変更</p>	<p>【屋外排水設備】-【屋外排水設備番号編集】コマンドの【樹番号変更】ページの【一括変更】、および【枠内変更】モードにより[樹名称]、[樹番号]、[取付管番号]、および[取付番号]を一括で変更する場合に、要素指定後表示されるダイアログ内に、変更対象となる施工区分、および排除区分条件の設定を追加し、指定した施工区分、および排除区分に設定された取付管(樹引き)、屋外排水管、および樹のみを対象とした[樹名称]、[樹番号]、[取付管番号]、および[取付番号]の変更を行うことが可能になりました。</p> <p>※屋外排水管の操作には要[屋外排水設備システム(オプション)]</p> 

追加機能概要	分類	内容
施設番号による路線・取付管要素の平面内検索機能の追加 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]		
<p>平面図内の路線、および取付管要素に設定された施設番号による検索が可能になりました。</p> <p>また検出した要素を中心とする移動表示が自動で行われます。</p>	<p>路線要素検出</p> <p>取付管要素検出</p>	<p>【路線平面系統】-【検索】-【路線施設番号検索】コマンドを追加し、『スパンデータ』、『人孔データ』、および『幹管データ』の施設番号の入力により、該当の路線要素を検出することが可能になりました。</p> <p>また検出した要素を中心とする移動表示が自動で行われます。</p> <p>【路線平面系統】-【検索】-【取付管施設番号検索】コマンドを追加し、『取付管・屋外排水管データ』、および『柵データ』の施設番号の入力により、該当の取付管要素を検出することが可能になりました。</p> <p>また検出した要素を中心とする移動表示が自動で行われます。</p> <div data-bbox="1268 219 1540 414" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </div> <div data-bbox="1268 421 1540 611" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </div>
柵種別と取付管の非同期設定の追加		
<p>柵種別を変更しても、連動して取付管の管種・管径を変更せずに保持(柵種別のみを変更)することも可能になりました。</p>	<p>柵種別と取付管の非同期設定</p>	<p>【縦断設計の設定】-【取付管データの設定】の各取付管種別ごとに設定された取付管の管種・管径などを【取付管編集】や【取付管データ】コマンドの【取付管】ページ内で変更後、【取付管】ページの【柵種別】を変更した場合、これまでは、デフォルトである【取付管データの設定】で設定された各取付管種別ごとの管種・管径などが同期して再設定されていましたが、【縦断設計の設定】-【取付管データの設定】ダイアログ内に『柵と同期して取付管を変更する』のチェックボックスを追加し、チェックの OFF 設定により、連動して取付管の管種・管径を変更せずに保持(柵種別のみを変更)することも可能になりました。</p> <div data-bbox="1117 739 1540 974" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </div>
人孔・柵ごとの蓋種別設定の追加		
<p>新規作成される各人孔種別ごと、または各取付管種別ごとに、デフォルトで設置される蓋種別を設定することが可能になりました。</p>	<p>人孔蓋のデフォルト設定</p> <p>取付管蓋のデフォルト設定</p>	<p>【縦断設計の設定】-【人孔データの設定】の各【人孔データ】ダイアログ内に『蓋種別のデフォルト』設定を追加し、新規作成される各人孔種別ごとに、デフォルトで設置される蓋種別を設定することが可能になりました。</p> <p>ここで[なし]を設定している場合は、これまでと同様に【縦断設計の設定】-【蓋データの設定】ダイアログ内の【人孔蓋のデフォルト】で設定されている蓋が設置されます。</p> <p>【縦断設計の設定】-【取付管データの設定】の各【取付管データ】ダイアログ内に『蓋種別のデフォルト』設定を追加し、新規作成される各取付管種別ごとに、デフォルトで設置される蓋種別を設定することが可能になりました。</p> <p>ここで[なし]を設定している場合は、これまでと同様に【縦断設計の設定】-【蓋データの設定】ダイアログ内の【取付管蓋のデフォルト】、または【屋外排水管蓋のデフォルト】で設定されている蓋が設置されます。</p> <p>※屋外排水管の作成には要[屋外排水設備システム(オプション)]</p> <div data-bbox="1252 1019 1540 1265" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </div> <div data-bbox="1117 1321 1540 1568" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </div>
平面内における人孔オフセット寸法の要素直角指定機能の追加 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]		
<p>指定境界要素に対して直角に人孔施設オフセットを作成することが可能になりました。</p>	<p>要素直角オフセット</p>	<p>【路線平面系統】-【路線】-【本管寸法】コマンドの【オフセット寸法】ページの【人孔】モードに『直角』チェックボックスを追加し、チェックの ON 設定により、指定境界要素に対して直角に人孔施設オフセットを作成することが可能になりました。</p> <div data-bbox="1308 1612 1540 1870" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </div>
平面内における既作成標高点種別変更機能の追加 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]		
<p>指定した作成済み標高点要素の標高点タイプを変更することが可能になりました。</p>	<p>標高点タイプ変更</p>	<p>【路線平面系統】-【標高点】-【標高点編集】コマンドの【情報確認】ページに【タイプ変更】モードを追加し、指定した作成済み標高点要素の標高点タイプを【地盤点】、【地盤変化点】、または【宅地地盤点】に変更することが可能になりました。</p> <div data-bbox="1268 1937 1540 2027" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </div>

追加機能概要	分類	内容
地盤変化点の順序変更機能の追加		
<p>指定した地盤変化点の順序変更を行うことが可能になりました。</p>	<p>地盤変化点順序変更</p>	<p>ツリービュー上から開く【路線データ】ダイアログの【地盤変化点】ページに【↑上へ移動】、および【↓下へ移動】ボタンを追加し、指定した地盤変化点の順序変更を行うことが可能になりました。</p> 
地盤変化点クリアランスの土被り区分従属設定の追加		
<p>土被り区分の異なる各スパンにおいて、【土被り区分】で設定された値に従った、地盤変化点からの本管のクリアランス確保が可能になりました。</p>	<p>地盤変化点での本管クリアランス設定</p>	<p>【縦断設計の設定】-【地盤変化点クリアランスの設定】ダイアログ内の【地盤変化点でのクリアランス】設定内に『土被り区分に従う』チェックボックスを追加し、チェックの ON 設定により、土被り区分の異なる各スパンにおいて、【縦断設計の設定】-【管底高の設定】ダイアログ内の【路線の管底高計算設定】ページ内の【土被り区分】で設定された値に従った、地盤変化点からの本管のクリアランス確保が可能になりました。</p> 
平面図切出し機能の追加 ※要【路線平面系統作成システム(オプション)】		
<p>指定したページ内に作成されている平面図要素について、指定した縮尺で切出すことが可能になりました。</p>	<p>平面図切出し</p>	<p>【路線平面系統】-【平面図切出し】コマンドを追加し、【図面選択】ページで指定したページ内に作成されている平面図要素について、指定した縮尺で切出すことが可能になりました。指定ページに路線平面要素が含まれる場合は【平面図設定】ページで切出し対象とする要素の指定ができ、さらに区分などの詳細切出し条件が設定可能です。</p> 
図面管理(順番変更)機能の追加		
<p>縦断面図や構造図のツリービュー上での順番の変更管理が可能になりました。</p>	<p>図面管理</p>	<p>ツリービュー上の各図面データからの右クリックメニュー、またはツリービューが選択されている状態での【編集】メニューの中に【図面管理】コマンドを追加し、ダイアログ内の【↑上へ移動】、および【↓下へ移動】ボタン操作により、縦断面図や構造図のツリービュー上での順番の変更管理が可能になりました。</p> 

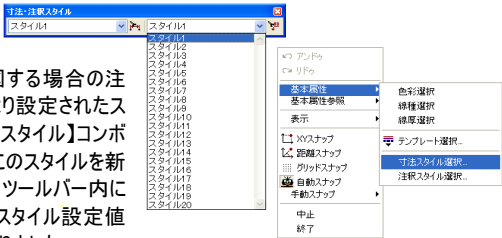
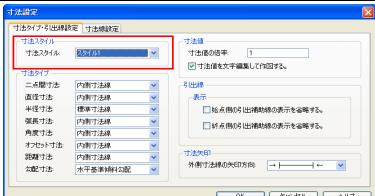
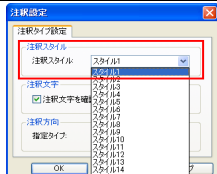
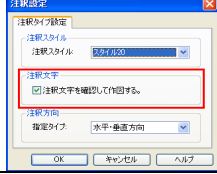
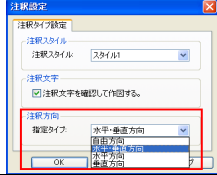
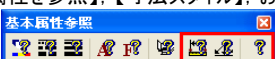
Rapid シリーズ Ver8.0 追加機能一覧

Civil Rapid Rapid Draw Pipe Rapid

追加機能概要	分類	内容
座標キーボードの簡易入力機能の追加		
<p>【座標入力】における自動スナップの割り込み処理モードの入力時に、簡単な操作による位置指定入力が可能になりました。</p>	<p>座標入力時の位置指定</p>	<p>キーボードによる【座標入力】における自動スナップの割り込み処理の『座標指定』、『距離+角度』、『距離+%勾配』、および『距離+比勾配』モードの入力方法に、右側の【...】ボタンの指定により表示される専用の【位置指定】ダイアログを追加し、簡単な操作による各モードでの位置指定入力が可能になりました。</p> 
文字列の検索・置換機能の追加		
<p>指定した文字列を検索し、指定した文字に置換することが可能になりました。</p>	<p>文字列の検索・置換</p>	<p>【編集】-【文字編集】-【文字列の検索・置換】コマンドを追加し、文字要素、寸法要素、および注釈要素を対象として、指定した文字列を検索し、指定した文字に置換することが可能になりました。</p> <p>検索結果による置換対象を複数選択でき、一度に複数の文字列の置換が可能です。</p> 
複数文字要素の結合機能の追加		
<p>指定した文字要素群の各文字列を1文字列に結合し、1要素に変更することが可能になりました。</p>	<p>文字要素の結合</p>	<p>【編集】-【文字編集】-【文字結合】コマンドを新規で追加し、指定した文字要素群からページ、レイヤ、色彩、フォント(フォント名およびサイズ)、および文字配置角度が同じで、かつ同一線上(文字要素の矩形範囲上)の複数の文字要素を検出し、各文字列を1文字列に結合し、1要素に変更することが可能になりました。</p> 
図形(線・円など)検索機能の追加		
<p>指定した基準要素と同じ要素の個数を検出することが可能になりました。</p>	<p>要素個数検索</p>	<p>【ツール】-【計測】コマンドに【個数】ページを追加し、指定した基準要素(有限線、マルチライン、円、および塗潰し円要素)と同じ要素の個数を検出することが可能になりました。</p> 
図枠の自動作成機能の追加		
<p>用紙設定と新規図面作成時などに、余白サイズなどで設定した図枠の自動作成が可能になりました。</p>	<p>図枠自動作成</p>	<p>次のコマンド内での設定により、輪郭線に関する条件が設定でき、図枠の自動作成が可能になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Civil Rapid, Rapid Draw の【ファイル】-【新規作成】、および Pipe Rapid の【構造図】タブ内右クリックメニューの【新規作成】により表示される【新規図面】ダイアログの【図面情報】ページ内に【図枠】ボタンを追加し、このボタンの指定により表示される【図枠】ダイアログの【図枠】ページ。 ・Pipe Rapid の【縦断面図の設定】-【図面設定】の【図面用紙】ページ内に【図枠】ボタンを追加し、このボタンの指定により表示される【図枠】ダイアログ。 ・Pipe Rapid の【路線平面系統図の設定】-【系統図図面設定】の【系統図図面用紙】ページ内に【図枠】ボタンを追加し、このボタンの指定により表示される【図枠】ダイアログ。 
指定図面の自動挿入機能の追加		
<p>用紙設定と新規図面作成時などに、指定した dob 図面の自動挿入が可能になりました。</p>	<p>図面自動挿入</p>	<p>Civil Rapid, Rapid Draw の【ファイル】-【新規作成】、および Pipe Rapid の【構造図】タブ内右クリックメニューの【新規作成】により表示される【新規図面】ダイアログの【図面情報】ページ内に【図枠】ボタンを追加し、このボタンの指定により表示される【図枠】ダイアログの【挿入図面】ページでの設定により、指定した dob 図面の自動挿入が可能になりました。</p> 

Rapid シリーズ Ver8.0 追加機能一覧

Civil Rapid Rapid Draw Pipe Rapid

追加機能概要	分類	内容
ページ移動・レイヤ移動機能の追加		
<p>図面内の選択した要素を指定したページ、またはレイヤに移動することが可能になりました。</p>	<p>ページ移動</p>	<p>【編集】-【移動】-【ページ移動】コマンドを追加し、図面内の選択した要素を指定したページに移動することが可能になりました。</p> 
	<p>レイヤ移動</p>	<p>【編集】-【移動】-【レイヤ移動】コマンドを追加し、図面内の選択した要素を指定したレイヤに移動することが可能になりました。</p> <p>選択した要素を移動先レイヤで指定されている色彩・線種・線厚に変更することも可能です。</p> 
ページ・レイヤ保存時状態を記憶するように仕様変更		
<p>保存時に開いていたページ、およびレイヤがアクティブになるように仕様変更を行いました。</p>	<p>アクティブページ・レイヤ</p>	<p>図面を開く場合、【ファイル】-【新規作成】コマンドで表示される【新規図面】ダイアログの【図面情報】ページ内の『初期ページ設定』などで設定されたページをアクティブに、またレイヤについては、0番レイヤをアクティブにしていたが、保存時に開いていたページ、およびレイヤがアクティブになるように仕様変更を行いました。</p>
【寸法・注釈スタイル】ツールバーの追加		
<p>【寸法・注釈スタイル】ツールバーを新規に追加し、寸法スタイル、および注釈スタイルの設定値を共有して使用することが可能になりました。</p>	<p>【寸法・注釈スタイル】ツールバー</p>	<p>寸法を作図する場合の寸法スタイル(「寸法管理」コマンドにより設定されたスタイル)、および注釈を作図する場合の注釈スタイル(「注釈管理」コマンドにより設定されたスタイル)は、これまで各コマンド内の【スタイル】コンボボックスにより設定していましたが、このスタイルを新規に追加した【寸法・注釈スタイル】ツールバー内に移動し、各コマンドにより使用するスタイル設定値を共有して使用することが可能になりました。</p> <p>また設定する寸法スタイル、および注釈スタイルは、コマンド起動時のマウス右ポップアップメニューからも設定可能になりました。</p> 
寸法スタイルの統一管理設定の追加		
<p>寸法要素作図時における寸法スタイルの統一管理が可能になりました。</p>	<p>寸法スタイルの統一管理</p>	<p>【設定】-【寸法設定】ダイアログ内に、【寸法スタイル】を指定できる設定を追加し、対象となる寸法要素作図時における寸法スタイルの統一管理が可能になりました。</p> 
注釈作図時のスタイル統一管理・文字確認・作図方向指定設定の追加		
<p>注釈作図時における機能の拡張を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 注釈スタイルの統一管理 注釈文字の確認 注釈作図方向の指定 	<p>注釈スタイルの統一管理</p>	<p>【設定】-【注釈設定】ダイアログ内に、【注釈スタイル】を指定できる設定を設け、文字注釈、およびバルーン注釈要素作成時における注釈スタイルの統一管理が可能になりました。</p> 
	<p>注釈文字の確認</p>	<p>【設定】-【注釈設定】ダイアログ内に、『注釈文字を確認して作図する』のチェックボックスを追加し、チェックの ON 設定により、文字注釈、およびバルーン注釈要素の注釈位置指定完了時に【注釈文字入力】ダイアログを表示し、作図文字の確認、入力、および編集を行うことが可能になりました。</p> 
	<p>注釈作図方向の指定</p>	<p>【設定】-【注釈設定】ダイアログ内に、【注釈方向】を指定できる設定を設け、文字注釈、バルーン注釈、および鉄筋注釈要素作成時における注釈作図方向を[自由方向]・[水平]・[垂直方向]・[水平方向]・[垂直方向]の 4 タイプから指定することが可能になりました。</p> 
【基本属性参照】ツールバー項目(全属性参照・寸法/注釈スタイル)の拡張		
<p>【基本属性参照】ツールバーに新機能を追加搭載し、属性を参照した作図機能が拡張されました。</p>	<p>【基本属性参照】ツールバー</p>	<p>【基本属性参照】ツールバーに、割込み機能として【全ての属性を参照】、【寸法スタイル】、および【注釈スタイル】ボタンを追加搭載し、属性を参照した作図機能が拡張されました。</p> 

Rapid シリーズ Ver8.0 追加機能一覧

Civil Rapid Rapid Draw Pipe Rapid

追加機能概要	分類	内容
基本属性テンプレート項目としてレイヤ名の追加		
基本属性テンプレート項目として、レイヤ名も設定可能になりました。	属性テンプレート設定	<p>【設定】-【基本属性設定】コマンドの【属性テンプレート設定】ページに『レイヤ名』を追加し、レイヤ名も設定可能になりました。</p> 
パラメトリック機能の共有点移動の選択／非選択の追加		
【点移動】、および【要素移動】時に、指定した要素の端点のみを移動することも可能になりました。	共有点移動	<p>【編集】-【パラメトリック】-【点移動】、および【要素移動】コマンドに【共有点移動】のチェックボックスを追加し、チェックの OFF 設定により、指定した点 が他の要素と共有している点である場合、指定した要素の端点のみを移動し、移動する先に点がない場合は、新規に点を作成することが可能になりました。</p> 
補助点・マーク点の点間均等分割配置機能の追加		
補助点要素、およびマーク点要素作図時に、指定した 2 点間に対しても、設定した分割数による均等分割配置が可能になりました。	補助点	<p>【ツール】-【補助点】コマンドの【補助点】ページ内に【点間】モードを追加し、設定した分割数による補助点要素作図時に、これまでの要素指定に加え、指定した 2 点間に対しても、均等分割配置が可能になりました。</p> 
	マーク点	<p>【ツール】-【マーク点】コマンド内に【点間】モードを追加し、設定した分割数による補助点要素作図時に、これまでの要素指定に加え、指定した 2 点間に対しても、均等分割配置が可能になりました。</p> 
平行・角度均等分割による補助線作図機能の追加		
指定した 2 直線間、または 2 要素間で、平行分割や角度分割により均等配置する場合に、補助線要素としての作図も可能になりました。	平行分割	<p>【ツール】-【分割】-【分割要素】コマンドの【平行分割】ページ内に【補助線】チェックボックスを追加し、指定した 2 直線間(【点指定】モード)、または 2 要素間(【要素指定】モード)で均等分割配置する場合に、これまでの有限線などの要素作図に加え、【補助線】チェックボックスの ON 設定により、補助線要素を作図することも可能になりました。</p> 
	角度分割	<p>【ツール】-【分割】-【分割要素】コマンドの【角度分割】ページ内に【補助線】チェックボックスを追加し、指定した 2 直線間(【点指定】モード)、または 2 要素間(【要素指定】モード)で均等分割配置する場合に、これまでの有限線などの要素作図に加え、【補助線】チェックボックスの ON 設定により、補助線要素を作図することも可能になりました。</p> 
【属性変更】・【要素分解】コマンド操作の省力化		
【属性変更】、および【要素分解】コマンドの操作パネルを 2 ページから 1 ページに仕様変更し、操作が省力化されました。	属性変更	<p>【編集】-【変更】-【属性変更】コマンドの操作パネルを 2 ページから 1 ページにし、これまでの【要素指定】ページで要素検出→【属性変更】ページの【変更】ボタン指定による属性変更操作から、【要素指定】ページ内の【完了】ボタン指定による属性変更操作に仕様変更し、操作が省力化されました。</p> 
	要素分解	<p>【編集】-【要素分解】コマンドの操作パネルを 2 ページから 1 ページにし、これまでの【要素指定】ページで要素検出→【要素分解】ページの【完了】ボタン指定による要素分解操作から、【要素指定】ページ内の【完了】ボタン指定による要素分解操作に仕様変更し、操作が省力化されました。</p> 
外部出力における未分解挿入図面確認の追加		
外部出力時に、分解されていない挿入図面がある場合、確認のダイアログを表示するように仕様変更しました。	未分解挿入図面の確認	<p>【ファイル】-【ファイル出力】-【SXF 出力】、【DWG 出力】、および【DXF 出力】コマンドによる外部出力時に、分解されていない挿入図面がある場合、確認のダイアログを表示するように仕様変更しました。</p> <p>また、【ファイル】-【ファイル出力】-【ファイル一括出力】、および【ファイル】-【ファイル一括変換】コマンド使用時には、エラー表示し、出力が停止されます。</p> 
【製図基準チェック】機能の拡張 ※Civil Rapid Rapid Draw の機能追加 (Pipe Rapid は対象外)		
搭載済みである文字に関するチェック項目に追加して、図形に関するチェック項目を設定して、製図基準チェックを行うことが可能になりました。	製図基準チェック	<p>【編集】-【製図基準】-【製図基準チェック】コマンドに【図形】ページを追加し、搭載済みである文字に関するチェック項目に追加して、図形に関するチェック項目(『図形』、『輪郭線』、『レイヤ』、『色彩』、『線種』、および『線厚』)を設定して、現在アクティブな図面に対して製図基準チェックを行うことが可能になりました。</p> 